

山行記録

鈴鹿山系 綿向山

年月日	2023年6月19日
天気	晴れ
集合場所・時間	JR 芦屋駅 7時20分
参加人数	9名
歩行時間・距離	4時間30分、9.8km
費用	5860円（JR/バス利用）

コースタイム

西明寺口バス停（372m）11:00～水無山北尾根登山口 11:20（休憩）～12:05 林道出合（休憩）～12:25 途中の広場でランチ 12:50～13:20 水無山分岐～14:00 綿向山（1110m）14:20～14:50 七合目行者堂（休憩）～15:30 二合目（休憩）～16:00 登山口（休憩）～16:40 西明寺口バス停

感想

梅雨の最中なので天気が心配されたが晴れとなり喜んだのもつかの間、いつもの JR の遅延が発生し近江八幡からのバスに乗れるか危うい所であったが何とか間に合い、近江鉄道湖国バスと日野町営バスを乗り継いで、家を出て約4時間、漸く綿向山の入り口のバス停に到着。さすが鈴鹿山系の西端、遠い！朝早い・交通費高い・きつそう、という参加の少ない代表的な例会であったが、どういう訳かありがたいことに9人の参加者があった。各自体操をして体をほぐしたあとバス停を出発。

川沿いの林道を歩いて表参道・北尾根のコース分岐である登山口（ヒミズ谷出合小屋）に到着。表参道往復（初級）のチョイスもあったが、天気もいいし折角なのでちょっとスリルのある北尾根コース（中級）を計画表通り上りルートにとの参加者の声で定刻に出発。

スギやヒノキの林の中のジグザグの登り道を約一時間歩いたところに小さな広場を見つけ、皆さんお腹が空いたということで予定より少し早く昼食。蛭が怖いと立って食べる人もいた。

食後暫く歩くと人工林から自然林に植生が変わり風もあって心地よい。山の斜面に沿って延々と続く細い道や所々にある岩場をロープや根っこに掴まって注意しながら歩き続けて一時間。大きながけ崩れ？の断崖横をこわごわ通り過ぎて表参道からのルートとの合流地点に到着。暫く上ると最後の階段（50段位？）を力を振り絞って上がり綿向山頂上に到着。晴れて少し霞んでいるが360度の絶景！下見は雨で全く視界が無かったので感動した。山頂にある大嵩神社に手を合わせ、案内板に書かれた山々を探し、集合写真を撮って、下山開始。

表参道コースは頂上から五合目あたりまでブナが多く、冬場は雪で覆われその重みで斜めに木々は伸びているようだ。参道と言われるだけあって幅の広いジグザグの道で延々と続くが危険なく歩きやすい。帰りのバスの時刻には余裕ありということで、下り担当のリーダーの先導のもと、休憩をたっぷり取りお喋りにも花を咲かせながら計画書より10分遅れでバス停に到着。待合室で最初で最後の蛭を見つけ皆さん感動？！

帰路も町営バス・湖国バスを乗り継いで18時過ぎに近江八幡駅に到着。遅くても反省（会）が必要な人を残して皆さん家路に。梅雨の間の気持ち良いハイキングでした。お疲れさまでした！

今回の企画・下見をされたNリーダーは体調不良で欠席されましたが、計画書通りの時間で実施でき、天気も晴れてくれました。ありがとうございました。イワカガミ群生の花が咲く時期に再訪しても？